

## 2016 年度 GSK 医学教育事業助成の概要

### 学会名

日本呼吸ケア・リハビリテーション学会

### 正式名称

日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 慢性呼吸器疾患 医学教育事業

### 医学教育事業の概要

COPD、間質性肺疾患、肺高血圧症などの慢性呼吸器疾患に対する呼吸管理・呼吸リハビリテーションなどに関係する e-learning 方式の教材を作成、さらに刊行物を通して、医師のみならず医療関係者（看護師、理学療法士、臨床工学士、薬剤師等）に情報提供

### 医学教育事業の対象者

主な医療関係者：理学療法士、看護師、臨床工学士、薬剤師、医師、その他  
対象となる医療関係者の想定人数：4,000 人（会員数）

### 医学教育事業の必要性

COPD の正しい理解を広げるためには、呼吸管理・呼吸リハビリテーションに関与している呼吸器領域の医師、理学療法士、看護師、臨床工学士などの医療関係者への、適切な継続的教育が必要である。特発性肺線維症を含む間質性肺疾患に対する継続的教育は、学会会員にとって必須事項になる。呼吸器系の病気には、必ず肺血管障害が関与してくる。その進展した病態が肺高血圧症であり、その継続的教育は、学会会員にとって必要な知識習得につながる。COPD、間質性肺疾患、肺高血圧症など慢性呼吸器疾患に関する医学的／医療的進歩に関して、会員である医療関係者（看護師、理学療法士、臨床工学士、薬剤師など）に最新の教育をする必要がある。

### 医学教育事業の目的

慢性呼吸器疾患およびその増悪に関する適切な医学教育は、質の高い呼吸ケア指導士の育成、認定看護師の育成、呼吸管理専門医師の育成に繋がる。(1) COPD の呼吸管理／リハビリテーションなど：1. COPD に対する理解、2. COPD に対する包括的リハビリテーション、3. COPD に対する HOT、NPPV を含む治療、(2) 間質性肺疾患の呼吸管理／リハビリテーションなど：4. 間質性肺疾患に対する理解、5. 間質性肺疾患に対する包括的リハビリテーション、6. 間質性肺疾患に対する HOT、NPPV を含む治療、(3) 肺高血圧症の呼吸管理／リハビリテーションなど：7. 肺高血圧症に対する理解、8. 肺高血圧症に対する包括的リハビリテーション、9. 肺高血圧症に対する治療

### 医学教育事業の計画・方法等

e-learning 方式による教材作成をすると同時にシステムの構築をする。e-learning 方式には、それぞれの単元に必ず比較的短時間で回答可能な、数項目の質問を用意し、それに回答し、ある一定以上（80%を想定）の点数の時に、受講単位を授与する方式を想定している。ある一定以上の点数に至るまで、回答可能とする予定である。その方式により、医学教育の質の向上を図る。医学教育事業は、まず学会会員を対象として会員専用 HP から行う。その後、完成版は非学会員の医療関係者も対象とする予定である。対象疾患、内容に関しては、会議などにより適宜内容を変更、会員のためになる内容構築を目指す。

COPD に関する医学教育コンテンツとして下記を予定している：呼吸管理に必要な解剖・生理学の基礎知識、呼吸機能検査、呼吸器画像診断の基礎知識、血液ガス分析と酸塩基平衡、呼吸障害の病態と診断、薬物療法、吸入療法、酸素療法、気道管理、呼吸理学療法、気道確保、人工呼吸療法、人工肺、COPD に特殊な呼吸管理、栄養管理、COPD に必要な看護、緊急を要する病態とその対応、入院および外来でのモニター同様に間質性肺疾患、肺高血圧症に関する医学教育コンテンツを準備している。

### 医学教育事業の成果に対する情報共有について

日本呼吸ケア・リハビリテーション学会の認知率の向上を広報の工夫により広める、学会会員は容易に情報共有可能であることを認識して頂く、冊子体による教育資材の配布により広報する、他学会との情報共有化を図る。